

かしわ



柏市環境保全協議会

エコカンパニー通信

No.1

2009
Dec

柏市環境保全協議会だよりが リニューアルしました。

CONTENTS

会長あいさつ	P.1
柏市環境保全協議会紹介	P.2
これまでの取組	P.2
事業所紹介	P.3
・イチカワ株式会社	P.3
・有限会社光化工業所	P.3
・中央ばね工業株式会社	P.4
・東京電力株式会社	P.4
環境キーワード	P.5
事務局から	P.6
編集後記	P.6
事業所一覧	P.6

会長あいさつ



一人ひとりの環境に やさしいアクションから

柏市環境保全協議会 会長
東洋ガラス(株)
千葉工場 伊藤 康貴

この度、柏市環境保全協議会はリニューアルに取り組みました。1つ目は本誌自体のリニューアルです。これまで「柏市環境保全協議会だより」として発行してまいりましたが、今号から装いも新たに『かしわ・エコ・カンパニー通信』として生まれ変わりました。これまで以上に当協議会の環境への取り組みや、会員事業所の紹介をしてまいりたいと考えております。2つ目は、当協議会の取り組みを幅広く皆さまに知って頂きたいとの願いから、会員事業所以外の方々にもお手に取って頂けるようになりました。

近年、環境問題は国際的にも最重要テーマへ発展し、日本国内のエコ意識や活動も急速に高まりつつあります。こうした中で、9月に就任となった鳩山首相が掲げて

いる温室効果ガス削減目標は、日本が環境問題への取り組みをいかに重視しているかを世界に示したもので、高い評価を得ております。また、2016年のオリンピック開催地投票では東京は落選となりましたが、「環境」というキーワードをオリンピックのテーマとして掲げ、世界へ発信した日本の影響力は少なからずあったものと考えております。こうした環境問題への関心の高まりの中で、私たち個人は何が出来るだろう?と考える機会が増えてきたように実感します。企業としての取り組みももちろん大事ですが、改めて感じますのは、一人ひとりが身の回りの些細なことから環境に優しいアクションを起こすことから大きな効果が得られると思うのです。当協議会としましても、柏市および会員事業所が連携し、柏市の環境がより良く、親しみ易い街になるよう、そうした役割の一端を担ってまいりたいと思います。

最後に、年度の途中ではありますが前会長を引継いで10月から新たに会長に就任いたしました。今後みなさまのご指導ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。



柏市環境保全協議会紹介

(株)高島屋 柏店 小島 清

地球温暖化の問題はますます深刻化しております。

新政権の鳩山総理大臣から、全世界に向けて日本がCO2の排出量を25%削減することを国際会議の席上において宣言がされました。

このことは、今後、より一層の環境への取り組みが求められるものと思われま

す。当協議会は、柏市内に事業所を設ける企業が会員であり、そうした企業が中心となって省エネ・省資源への取り組みを推進、環境配慮型の商品開発等を進めることを通じて環境負荷の軽減に努めております。

また各事業所は、従業員の多くが市民であり社内ではもちろん、日常生活においても環境負荷の軽減に

役立つライフスタイルの推進に主体的に取り組んで行くことを応援しております。

このように企業はもとよりそこで働くすべての人がマイエコへの取り組みの輪を広げて行くことが大切と考え活動しております。

最後に、より多くの企業に柏市環境保全協議会の活動をご理解頂きまして当協議会への参加を通じ環境負荷削減に向けた取り組みの推進をお願い申し上げます。

環境保全協議会の目的である柏市環境基本計画に基づき、柏市における良好な環境を保全し環境負荷の少ない都市づくりを目指す。」を実現してまいります。

これまでの取組

(株)東京自働機械製作所 柏工場 崎山 寛章

平成9年8月、柏市と柏市内事業所とで環境保全協定の締結が行われ、同時に環境保全協議会がスタートしました。

これまでの協議会活動を振り返るに際し、当時の資料を読み返すと、当時としては画期的なこととして新聞各社に取り上げられていたことがうかがわれます。協議会の規約によると、「柏市環境基本計画に基づき、柏市における良好な環境を保全すること及び環境への負荷が少ない都市づくりを推進することを目的とし、この目的を達成するため、次の事業を行う。」とあり、①環境保全に関する見学、視察、研修会、講習会等の実施、②環境保全に関する情報等の交換及び相互理解の推進、③その他協議会の目的及び前各号の事業を達成するために必要な事業の3項目が挙げられています。

協議会はこの3項目の取り組みを基本にして活動を続けています。21号を数える「協議会だより」の発行もその中の1つです。

平成14年に事業所の取り組みをアピールするため会員証を発行しましたが、その際に、募集により、カタクリをモチーフにしたシンボルマークと「未来に残そう 柏の自然 いっしょに創ろう 環の街、柏」のキャッチフレーズが決定し、現在もイメージとして親しまれています。

このほか主な取組みとしては、視察研修会、啓発用品の作成・配布(アイドリング・ストップ用ステッカー、省エネ温度計、エコドライブ啓発ステッカーなど)、事例発表会や講演会、駅への横断幕設置(アイドリング・ストップ、エコドライブ啓発など)などです。

また、他の団体が取り組む活動にも積極的に参加していて、例えば、水循環回復行動計画に基づく大堀川協働調査への参加や、柏まつりへの出展においてCO2削減宣言者に景品を配布したりとかいったものがあります。

最近では、エコドライブの普及・啓発に取り組んでいます。エコドライブラリー(柏商工会議所主催)も開催していますので、ふるってご参加下さい。

事業所紹介

イチカワ株式会社 柏工場 石井 俊行 抄紙プレスパートのスペシャリスト としての使命感

イチカワは創業以来、文化のバロメーターと呼ばれる「紙」の製造に不可欠な抄紙用具および各種工業用フェルトの製造販売を通じて、皆様の生活のお役にたつてまいりました。当社の製品は紙・板紙やその他製品の製造過程で使われるため、一般にはなじみのうすいものと思いますが、実は、国内外の製紙会社にとって、また、さまざまな工業用分野において、無くてはならない存在となっています。

当社製品の「製紙用フェルト」と「シュープレス用ベルト」は、製紙工程のプレスパートで使用される抄紙用具であり、紙の品質と生産性および省エネ性を

左右する重要な役割を担うため、その製造技術には高度な専門性が要求されます。

イチカワは「抄紙プレスパートのスペシャリスト」として、地球とその環境に配慮した高機能製品を全世界へ提供していくことに強い使命感を抱き、全社員一丸となって専門性の更なるレベルアップを目指してまいります。

柏工場は、常磐線北柏駅近くの根戸工業団地内にあります。工場の設立は昭和39年。製紙用フェルトの生産拠点として、高機能性を重視した工場となっています。



設立：1949年11月21日（昭和24年） 資本金：35.9億円（東京証券取引所市場第1部上場） 代表者：代表取締役社長 蛭間良右 従業員数：590名+152名（連結子会社）=742名 事業内容：抄紙用フェルト、抄紙用ベルトおよびスレート・その他工業用フェルトの製造・販売 所在地：本社/東京都文京区本郷2丁目14番15号 柏工場/千葉県柏市根戸200番地 岩間工場/茨城県笠間市安居2600番11号 開発研究/茨城県笠間市中央1丁目8番1号 関連子会社：イチカワ・ノース・アメリカ・コーポレーション、イチカワ・ヨーロッパGmbH、宣紙佳造紙脱水器材貿易（上海）有限公司、(株)イチカワテクノファブリクス、有限会社アイケー加工、株式会社アイケーサービス

有限会社光化工業所 大谷 朋子 環境にやさしい製造業を目指して

光化工業所は昭和24年の創業以来、ネームプレート（銘板）製造を専門に、国内外一流メーカーをはじめとする様々なお客様の製品作りのお手伝いをさせていただいております。ネームプレートは製品、会社、施設、用具などあらゆるなかに存在し、それぞれの個性を生かしています。シンボルとして、情報の伝達として私達に視覚でメッセージを放っています。

製造業界を取巻く環境が日々めまぐるしく変化していく中、「低価格」「短納期」「高品質」を求める全てのお客様のご要望に応ずるべく、常に万全な体制を整えております。「シルク印刷」「金属（ステンレス・真鍮）銘板」「アルマイト銘板」「アクリル加工・彫刻銘板」「カッティングシート」等、長年の豊かな知識と経験をもつスタッフが自社工場一貫生産でご満足のいく製品をご提供いたします。

記載した写真のように、窓一面にカッティングシートで作成した、季節ごとのディスプレイは楽しいデザインが豊富です。

色々なデザイン、豊富な色で作成する商品は「世界にひとつだけ」のデザインが出来上がります。

ネームプレートってどんなものなのかな、こんなシールが作りたいのだけど、どこに頼んだらよいのかわからない、金属やアクリルのプレートに文字や数字

を刻印（打刻、彫刻）してもらいたい、などなど、シンプルなことからプロフェッショナルな質問、なんでもご相談ください。

また弊社では環境問題を経営上の重要課題と位置づけ、「エコアクション21」を取得しております。環境にやさしい製造業をモットーに、省エネルギー・継続的な環境負荷の低減のための活動として

- ① 二酸化炭素の排出量の削減
- ② 廃棄物の分別の徹底と再生利用の推進及び減量
- ③ 事業所全体の節電、省エネルギー化
- ④ 浄水設備の管理徹底
- ⑤ 会社全体でグリーン購入の推進

などを具体的な行動指針として定め、実現に向けて社員一丸となって積極的に取り組んでいます。



会社名 有限会社 光化工業所
住所 〒277-0861 柏市高田1113-13 電話 04-7143-3248
ファックス 04-7143-4693 URL <http://www.kouka-web.com>

中央ばね工業株式会社 井上 広次 効率化と品質向上こそ環境対策

私ども中央ばね工業株式会社は、精密ばね専門メーカーとして、産業用機械から暮らしの中の身近な生活用品に至るまで多種多様なばねを一貫した独自システムで生産、1970年の創業以来より多くの企業様より信頼をいただいております。

弊社では、お取引先様からのご要望もあり品質マネジメントシステムの認証取得に続いて、2004年より環境問題に取り組み、2005年3月「ISO14001環境マネジメントシステム」を認証取得いたしました。

取得当初は「紙の節約使用・電気の節約・ゴミ排出量の減少」と一般的な内容を中心に取り組み始めました。

どれだけの効果があるのかと、従来より環境影響を考慮した工場環境負荷の少ない製品を生産している中、計りかねるところもありましたが、「CO2の排出量削減」においては2000年度272tの排出量に対し、2008年度は161tと、地道な努力の継続で、40%の削減という大きな成果を上げることができました。

また、お取引先様のご要望に伴い原材料に含まれ

る物質や、製造工程で使用する油類、梱包資材にわたり環境負荷となるすべて物質の管理を強化させ、欧州の厳しい環境基準をクリアすることで最終的に製品をご購入されるお客様に安心して使用していただける製品を提供しております。

本年度は、これまでの環境への負荷を低減させる活動を維持すること、環境と品質の両システムを融合し社内業務すべての効率化を図ること、製品品質をより向上させ不良品や社外クレーム等を削減し製造工程や営業活動からムダを省くこと。

これら総合的な結果が地球環境へ与える負荷を低減させるという発想に転換、充実した「環境パフォーマンス向上」を目指し、社員一丸となって努力を重ねてまいります。



東京電力株式会社 安藤 達也 電化が切り開く低炭素社会

東京電力の地球温暖化対策は、電化が切り開く低炭素社会を目指してエネルギー供給側（電気を作る）と需要側（電気の使い方）の両面による取り組みを東京電力グループで一体となり、取り組んでいます。そのためのカギは、家庭、産業など様々な分野で電気の効率利用を促進する電化であると考えています。

そのためにCO2の少ない「電気をつくる」取り組みとして、原子力発電所の設備利用率が1%向上すると年間約300万tのCO2削減効果がある原子力を中心とする非化石エネルギーの利用拡大や火力発電所では、世界最高水準の高効率コンバインドサイクルを導入しています。これは従来型ガス火力に比べ、年間約60万tのCO2削減効果があります。

「電気を使う」取り組みとしては、CO2の排出を削減できるヒートポンプや電気自動車などの電化を推進しています。

ここで、東京電力東葛支社を紹介いたします。

東葛支社ではISO14001を2006年に取得し、環境管理活動のPDCAサイクルを着実に回すことによって環境汚染の予防と継続的な改善に努めています。例えば事業所内での電気に対する省エネの

取り組みも積極的に進めています。不要な照明は蛍光灯を間引きするなど極力省エネに努めています。今夏は、「緑のカーテン大作戦」に挑戦し構内でゴーヤを育成しました。省エネ効果はあったと自負しています。また、今話題の電気自動車を今年度16台の導入と急速充電装置の設置をいたします。「Switch!」のロゴ入りの業務車が柏市内を走りますので一見の価値ありです。

また、このような東京電力グループの取り組みを次世代層への教育支援として「環境・エネルギー教育」講座を各小中学校の授業に取り入れていただいております。

東京電力は、お客さまコミュニケーションを通じ地域に根付いた事業を展開しています。





【新エネルギー】

聞き慣れない人も多いと思いますが、ちょっとだけ触れてみましょう。

現在エネルギー資源全体の実に80%以上が石油、天然ガス、石炭など化石燃料に頼っているのが実情で、これらはいずれは枯渇する有限の資源です。

私達の周りにはいくつかのエネルギーが存在するが、水力・風力・太陽熱など古来から使われていたものの改良や、植物、地熱、波力、海洋温度差、太陽光発電といった近年の科学によって開発されたものが新エネルギーと呼ばれています。

伊藤ハム(株) 進藤 泰栄

新エネルギーとは、バイオマス、太陽熱利用、雪氷熱利用、地熱発電、風力発電、太陽光発電などすべて再生可能なエネルギーです。

いずれは枯渇する化石燃料や原子力エネルギーには環境への影響などに大きな問題があり、新エネルギーの開発は世界の重要な課題となっています。

地球温暖化への対策の一環として、積極的な開発、利用が進められ、世界のエネルギーの何割かを再生可能な新エネルギーが賄う日も、そう遠くはないと思われます。

【5R】

①リフューズ『Refuse』

物を購入する段階で、必要な物なのかどうか、もう一度検討する習慣を身につけ、買わないことで廃棄物の発生を抑制する。

②リデュース『Reduce』

いらなくなった物を捨ててしまうこと自体を見直す事。(必要のない物は買わない、ゴミになりそうな物は使わない。)

③リユース『Reuse』

いらなくなった物を捨ててしまうのではなく洗浄したりして、もう一度使うこと。

(株)稲葉製作所 倉井 徹美

④リペア『Repair』

物を修理する 壊れても直して長く使う。

⑤リサイクル『Recycle』

いらなくなった物を捨ててしまうのではなく、分別して集めて資源として再利用すること。(マテリアルリサイクルしましょう。)



【フードマイレージ】

「フードマイレージ」とは、輸入食品が食卓に届くまでに、輸送にどれだけのエネルギーを使ったかを数値で表したもので、1994年にイギリスのティム・ラング氏が提唱した「フード・マイルズ」という市民運動の概念を参考にしています。具体的には、食料の生産地から消費地までの距離に着目し、なるべく近くでとれた食料を食べることで、輸送に伴うエネルギーをできるだけ減らし、環境への負荷を軽減しようという運動です。

「フードマイレージ」(t・km)は、輸入相手国別の食料輸入量(t)×輸出国から日本まで

(株)そごう・西武 そごう柏店 羽田 茂樹

の距離(km)で算出されます。そしてこれは数値が大きければ大きいほど環境への負荷も大きいということになります。日本では消費される大豆や小麦など、そのほとんどを輸入に依存している上、その輸入元は日本との距離が離れている国が多い状況にあります。

その為、日本のフードマイレージはアメリカ・韓国の約3倍、イギリス・ドイツの約5倍、フランスの約9倍にもなっています。最近叫ばれている「地産地消」の推進は、フードマイレージ縮小の意味合いも有ると言えます。

事務局から

柏市環境保全協議会は、市と「柏市環境保全協定」を締結した事業所によって構成され、環境保全に関する知識や技術の向上、会員同士の交流を図る為に設立された組織です。

環境問題に真剣に取り組まれている市内事業所であれば、入会は随時受け付けております。

本紙をきっかけにより多くの皆様に柏市環境保全協議会の活動を知って頂き、また趣旨賛同の上ご入会頂きたくお願い申し上げます。

第1号 編集委員 (掲載順)	
東洋ガラス株式会社	伊藤 康貴
株式会社高島屋	小島 清
株式会社東京自働機械製作所	嶋山 寛章
イチカワ株式会社	石井 俊行
有限会社光化工業所	大谷 朋子
中央ばね工業株式会社	井上 広次
東京電力株式会社	安藤 達也
伊藤ハム株式会社	進藤 泰栄
株式会社稲葉製作所	倉井 徹美
株式会社そごう・西武	羽田 茂樹
株式会社藤井製作所	池田 浩平

お問い合わせ
柏市環境保全協議会事務局 (柏市役所環境部環境保全課)
 〒277-8505 千葉県柏市柏5-10-1
 Tel. 04-7167-1695 Fax. 04-7163-3728
 Mail. kankyohozen@city.kashiwa.lg.jp

編集後記

私たちの日常生活からは、日々温室効果ガスが発生し、その排出量は年々増え続けています。私たちは、地球規模で進む温暖化の防止を、真剣に取り組む必要があります。経済発展と温暖化防止の両立は、大変難しい問題です。

柏市環境保全協議会では、市や企業の様々な工夫や努力また、あらゆる形での取り組みの結果、温室効果ガス排出量の削減を実行し、成果をあげる事ができました。

しかし、日々の生活環境・経済環境の変化に伴い環境保全対策はフレキシブルに対応をしていかなければならない事業の一つとされております。

(株) 藤井製作所 池田 浩平
 会員事業所を中心に今後も活動を行ってまいります。が、今後は、事業所のみならず、さまざまな方々へ情報の発信の一部としまして、今までは柏市環境保全協議会会員事業所向けに発行してまいりました、『柏市環境保全協議会だより』を、会員事業所以外の方々にも、読んで頂きたく、お配りする運びとなりました。それに伴い、タイトルも『かわわ・エコ・カンパニー通信』とリニューアルし、環境問題に関するボランティア活動、就職活動、エコライフに活用して頂ければ幸いです。
 柏市・事業所・市民の三者が一体となって、エコを意識する事で身近な所から、一緒に環境問題に取り組んでいきましょう。

事業所一覧 (順不同)

事業所名	事業所名	事業所名
株式会社アトックス	株式会社斎藤英次商店	株式会社トッパン建築プロダクツ柏工場
イチカワ株式会社柏工場	三協フロンテア株式会社	豊四季工業株式会社
伊藤ハム株式会社東京工場	昭和ホールディングス株式会社	ニッカウキスキー株式会社柏工場
株式会社イトーヨーカ堂柏店	昭和プラスチック株式会社	日鶏食産株式会社
株式会社稲葉製作所柏工場	株式会社新星堂カルチェ5柏店	日鐵住金溶接工業株式会社柏工場
株式会社岩田印刷	鈴木化工株式会社	株式会社野口製作所
内山硝子株式会社柏営業所	住友軽金属工業株式会社千葉製作所	パウダーテック株式会社
NECロジスティクス株式会社	株式会社正光社柏営業所	ハマベルトサービス株式会社
株式会社遠藤製作所	株式会社そごう・西武 そごう柏店	株式会社日立プラントエンジニアリングアンドサービス
大畑運輸株式会社	アタカ大機株式会社	株式会社日立メディコ環境本部環境推進室
岡田印刷株式会社	株式会社DNPテクノポリマー	株式会社藤井製作所
オリエンタルモーター株式会社柏事業所	大和工業株式会社	株式会社フッカクローム
柏市再生資源事業協業組合	株式会社高島屋柏店	三井ガーデンホテル柏
柏市廃棄物処理業協業組合	武田紙器株式会社	株式会社マツモトキヨシ
柏製氷冷蔵株式会社	千代田鋳砕株式会社	株式会社丸昭建材
株式会社河合設備	中央ばね工業株式会社	MPロジスティクス株式会社東日本物流センター
川岸工業株式会社千葉第一工場	トイン株式会社柏工場	三井住友海上火災保険株式会社柏支社
株式会社木村屋総本店柏工場	株式会社東京自働機械製作所柏工場	株式会社モトハン
キャリア・コンサルタント協同組合 東葛サテライトオフィス	東京純薬工業株式会社	株式会社ヤマトメタル
グラバックジャパン株式会社	東京石油興業株式会社	ヨシザワエルエー株式会社
株式会社京北スーパー	東京電力株式会社東葛支社	株式会社ヨークマート 花野井店
京葉瓦斯株式会社北部営業設備センター	東芝物流株式会社TCM関東物流センター	リコーテクノシステムズ株式会社柏サービスステーション
有限会社光化工業所	東神開発株式会社	リコー販売株式会社千葉事業本部柏事業所
株式会社小島製作所	東積集成材工業株式会社	遼東化学工業株式会社
株式会社コネクト	東鉄企業株式会社	YKKAP株式会社千葉建材事業所
株式会社コモダエンジニアリング	東洋ガラス株式会社千葉工場	山本産業株式会社
ザ・クレストホテル柏	株式会社トクシキ	株式会社ららぽーと たらぽーと柏の葉